

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	京都府沿岸地域における総合的な海岸保全施設の整備（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	京都府												
計画の目標	海岸保全施設の長寿命化計画を策定し、計画的・効率的な老朽化対策を推進することにより、高潮・波浪・地震・津波等による災害や海岸侵食等に対して、ハード・ソフト一体となった総合的な対策を進め、府民の安心・安全で快適な生活環境を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,111	A	1,111	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	港湾所管海岸の海岸保全施設を適切に維持、管理するための長寿命化計画を策定する。 長寿命化計画策定率 計画策定済の港湾局所管地区海岸数 / 港湾局所管全地区海岸数	0%	76%	100%
2	海岸保全施設の老朽化対策を推進することにより、施設の機能低下による災害の発生を抑制するため、防護区域面積の回復を図る。 防護面積 防護面積 × (対策完了延長 / 要対策延長)	0ha	1ha	3ha

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 京都府建設交通部港湾局において事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 京都府ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 計画期間内に予定していた港湾施設の長寿命化計画が策定され、戦略的な維持管理の推進に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
・ 本計画後も引き続き、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化等による陳腐化した施設の適切な改良を実施することにより、さらなる利便性の向上を追求する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化計画策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	防護面積	
	最終目標値	3ha
	最終実績値	1ha

地元関係者と施工に伴う工事協力等について、不測の時間を要したため。

(参考図面)

